

項目	内容
名称	ラズベリー、レッドラズベリー、エゾイチゴ、ヨーロッパキイチゴ [英]Raspberry、European red raspberry [学名]Rubus idaeus L.、Rubus strigosus
概要	ラズベリーは、落葉性低木で、2 mまで生長し有刺の淡緑色の葉と、白色の花と紅色の果実をつける。果実はジュースやジャムなどの加工品としてもなじみのある素材である。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> 果実、葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。 <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般飲食物添加物 <ul style="list-style-type: none"> ラズベリー果汁 (ラズベリージュース) ラズベリー色素 (アントシアニン/アントシアニン色素/果実色素/ベリー色素)：着色料 天然香料基原物質リスト <ul style="list-style-type: none"> ラズベリーが収載されている。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> 葉にはポリペプチド、フラボノイド (アントシアニン)、タンニンが含まれる。 果実にはペクチン、糖類、有機酸、ビタミンA、B1、Cなどが含まれる (33)。

分析法	・ラズベリー中の11種のアントシアニンをHPLC-PDA-MS/MSで分析したとの報告がある (PMID:12188628)。
有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトでの評価	脳・神経・感覚器
	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症
	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉
	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長
	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満
	調べた文献の中に見当たらない。
	その他
	RCT ・健康な未経産の妊婦192名 (試験群：96名、オーストラリア) を対象とした二重盲検ランダム化プラセボ対照試験において、ラズベリー葉抽出物1.2 gを含む錠剤を2回/日、妊娠32週から陣痛開始まで摂取したところ、分娩第2期の時間の短縮と、鉗子分娩の割合の低下傾向が認められた (PMID:11370690)。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」 (別添2、別添3、一部改正について) (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (30) 「医薬品の範囲に関する基準」 (別添2、別添3、一部改正について) (PMID:11370690) J Midwifery Womens Health. 2001 Mar-Apr;46(2):51-9. (PMID:12188628) J Agric Food Chem. 2002 Aug 28;50(18):5191-6. (PMID:19880082) Complement Ther Clin Pract. 2009 Nov;15(4):204-8. (PMID:21115944) Int J Toxicol. 2011 Mar;30(2):216-24. (PMID:23843424) Phytother Res. 2014 Apr;28(4):603-10. (PMID:18154917) J Pediatr. 2008 Jan;152(1):140, 140.e1. (2014351847) 日本周産期・新生児医学会雑誌. 2014;50(2):784. (PMID:24458977) Phytother Res. 2014 Oct;28(10):1573-6. (PMID:27824754) Obstet Gynecol. 2016 Dec;128(6):1421-1424. (2015149617) 日本周産期・新生児医学会雑誌. 2015;50(4):1341-5.